

年代	期間	人物	出来事	内容	流れ
30 50 100 200 300	54 } 68 249 } 251 303 } 304	ネロ帝 テキウス帝 ディオクレティアヌス	イエスの処刑 ローマ大火 キリスト教徒大虐殺 キリスト教禁止令を發布 聖職者の処刑 教会堂破壊	キリスト教の成立 パウロによる熱心な布教活動 ペトロやパウロも、ネロによって処刑される ローマ帝国の迫害を受けつつも、信者数を増やし コンスタンティノープル、アンティオキア、ローマ、 エルサレム、アレキサンドリアの5つの歳に教会を 設立するまでに至った。 迫害するよりも利用した方が得策	ローマ帝国による迫害
313 325 381 392		コンスタンティヌス帝 テオドシウス帝	ミラノ勅令 ニケーア公会議 コンスタンティノープル公会議	キリスト教公認(あらゆる信教の自由を認めた) 教義の見解を統一 教義の見解を統一 キリスト教のローマ国教化	ローマ国教化
395 726 756 800 867 962 1054		東ローマ帝国 レオン3世	ローマ帝国分裂 聖像禁止令発布 ローマ教皇領始まる ローマ教皇による フランク王国カール大帝の戴冠 東西教会が互いに破門 神聖ローマ帝国成立 東西教会が完全に分裂	ローマ教会の権威が強化 東西教会の対立激化 東(東方正教会) 西(ローマ・カトリック教会)	キリスト教の東西分裂
1300 1500 1521	1096 } 1270	ローマ教皇 ウルバヌス2世 ルター(ドイツ)	十字軍遠征 『95カ条の論題』を教会に提出	聖地奪還は失敗におわるが 教会は巨利を得た。 ・ローマ教皇の力は衰退 ・東西貿易が活発化 ・封建制から資本主義への移行 格差が生じることに對する不安をもつ 庶民に教会が免罪符を販売 教会の腐敗・墮落 イギリスやスイスで ローマ教会・免罪符への批判が高まる 宗教改革 権威は教会にあるのではなく、 聖書にあることなどを唱えた。 ・ルター派(ドイツ)が起こりカトリックに對抗 ・ジャン・カルヴァン(フランス)が教会改革に尽力 ・国王ヘンリー8世(イギリス)により英国国教会 が成立 既成のカトリック教会に抗議し、 新興のキリスト教を意味するプロテスタントの誕生	十字軍遠征 教会の墮落 宗教改革 プロテスタント誕生
1562 } 1598 1568 } 1648 1618 } 1648			ユグノー戦争 オランダ独立戦争 30年戦争	宗教改革の結果、プロテスタント(新)と カトリック(旧)の争いが起こるようになる。 カトリックによるプロテスタントの迫害 貴族の勢力争い、民族の独立戦争に拡大 ヨーロッパ中を巻き込む 宗教戦争 に発展	ヨーロッパの宗教戦争
1545 15c } 17c前半		イグナティウス・デ ・ロヨラ	トリエント(イタリア)公会議 大航海時代	免罪符の見直しから始まったカトリック教会の 権威回復のための対抗宗教改革 イエズス会(イエスの軍隊の意味)を設立 大航海時代によって活発化した植民地政策と イエズス会の世界各地への布教が一体化 アジア、アフリカ、中南米にキリスト教が広まる インカ文明(ペルー)やアステカ文明(メキシコ) の文化や生活を破壊・駆逐しながら信者獲得に 狂奔	植民地化と一体化 世界中へ拡大